

Tepoztlán

皆さん、こんにちは。日本ではもう冬を迎えているのでしょうか。一年を通して春か秋ぐらいの気温のメキシコでは、ようやく朝晩が冷え込んできたところ
です。9月からほぼ毎週のように続いていたメキシコの行事に少し疲れていま
したが（笑）、いよいよ年末に近づいてきたのだという感じがします。

さて、今日はメキシコ政府観光局によって魔法のように魅力的な場所、「プエ
ブロ・マヒコ」として選出された *Tepoztlán* (テポストラン) を紹介したいと思
います。テポストランは、メキシコシティからバスで1時間半ほどの距離にあ
る小さな街です。タスケーニャのターミナルでバス会社のチケット（往復280
ペソだったのでおよそ1600円）を購入し、いざ出発です。メキシコの長距離バ
スはそのほとんどが予想以上に快適です。座席はゆったりとしていて、テレビ
やトイレもついているし、充電用のコンセントも必ずと言っていいほど設置さ

れています。

テポストランに着くと、シティとはまた雰囲気ガラッと変わります。今回の旅の一番の目的の登山をするために、山の入り口まで向かいました。街の中を歩いて行くのですが、途中には可愛らしい雑貨屋さんやカフェ、屋台などが充実していました。もちろんタコスもあります。この日はケサディージャを食べたのですが、屋台のお姉さんにおすすめを聞いたところ、カボチャの花は食べたことあるかと聞かれました。初めてだったのでもちろん挑戦することに。とても美味しく、帰りは para llevar (持ち帰り) することにしました。



これがその南瓜の花を使ったケサディージャです。三角形の皮の中に具材とチーズ(スペイン語でケソと言います)を挟んで食べます。20ペソと安いです。

いよいよ登山開始です。たくさんあった屋台やレストランもなくなり、ゴツゴツとした岩の道が続きます。この傾斜がとてつもなく急で、登り始めるとすぐにしんどくなってきます。また、ハッキリとした道ではなくただの岩を登っているの、きちんとした靴でないと足への負担も大きくなってしまいます。



このような道が、山頂まで永遠に続きます…。登る人も降りる人もみんなが1つの狭い道を使うので、譲り合いが大切です。降りてくる人からは、「頑張れ、あと少し！」と励まされました。

ついに山頂に到達！最後の階段地獄がとても辛かったのですが山頂からの眺めで、疲れなんて全て無くなってしまいました。何千年も前にこの高い場所に作られた遺跡に腰掛けてテポストランの街を一望しながら、しばらくボーッとしていました。帰り道もちろんハードです。容赦無くずっと続く岩の道に、膝が終始笑っていました。とても疲れていたせいか、家に着いてからはすぐに寝てしまいました。メキシコにきてからの一番きつい体験でしたが、山頂からの景色は絶対に忘れることはないだろうと思います。メキシコに来た時は、元気があればぜひ挑戦してみてください。歩きやすい靴も忘れずに！